

第53回日本伝統鍼灸学会学術大会 一般演題募集について

日本伝統鍼灸学会学術部

第53回日本伝統鍼灸学会学術大会の一般演題を、下記の要領で募集いたします。
日頃の研究・臨床の成果を積極的にご発表ください。
会員の皆様の普段の臨床で考えられていることや、治療効果が高かった症例などの一例報告も歓迎します。
多くの方のご応募をお待ちしております。
応募方法、抄録の書き方、発表方法などについての質問などございましたら、学術部までご相談ください。

【学術大会概要】

第53回日本伝統鍼灸学会学術大会 東京大会
開催日：令和7年10月11日（土）・12日（日）
場所：タワーホール船堀
会頭：谷内秀鳳
実行委員長：奈良雅之
一般演題担当：日本伝統鍼灸学会 学術部

【応募資格】

演者および共同演者は、日本伝統鍼灸学会会員（令和7年度会費納入済の会員）に限ります。
応募は会員1名につき1題とします。
ただし、共同演者はこの限りではありません。

【応募内容】

- | | | | |
|---------|---------|-------------------------|-----------------------|
| 1) 医史研究 | 2) 文献研究 | 3) 基礎理論研究 | 4) 診察・診断研究 |
| 5) 教育研究 | 6) 症例報告 | 7) 鍼灸技術研究 ^{*1} | 8) 調査研究 ^{*2} |
| 9) その他 | | | |

^{*1} 主に鍼技術や灸技術に関する研究

^{*2} 主にアンケート調査やフィールド調査などを示す。

【発表方法】

一般演題は口演形式の発表を募集いたします。
なお一般発表の応募が多い場合はポスター形式も予定しております。
但し、口演もしくはポスターの選択は学会に一任して頂きます。
また、コロナウィルスの感染状況によっては、発表がオンライン発表やビデオ投稿形式等に変更、もしくは学術大会そのものが延期になる場合があります。

【発表時間・発表日時】

発表時間：発表時間は7分、質疑応答が3分、合計10分です。発表時間は厳守してください。
発表日時：発表の日は採用後にご相談させていただきます。

【募集期間】

令和7年4月1日（火）～7月10日（木）
募集期間の締切日を過ぎたものは受理いたしません。

【応募方法】

応募には抄録と演題申込書が必要です。必ずデータファイルを下記の方法で学会学術部にメールで送ってください。

全て横書きとし、Word 形式（ワープロソフト Microsoft Word で読むことができる形式）で保存されたファイルをメールで送信してください。

文字化けで読めない場合があるため、PDF ファイルも同時に作成して送信してください。

【抄録原稿作成上の注意事項】

発表は伝統鍼灸と関連のある内容であること、次に示す抄録原稿作成上の注意事項を守って、抄録を作成してください。

共同研究者がある場合は、演者を最初に記載し、演者名の前に○印を付けてください。なお共同研究者は全て会員に限ります。

文字数は 1400 字以内とします。外字はなるべく使用しないでください。

キーワードを 5 つ以内で記入してください。

抄録には写真、図表、注釈は掲載できません。

【目的】【方法】【結果】【考察】【結語】に分けて記載してください。

症例報告の場合は、【方法】を【症例】にしてください。（次ページの記入例もご参照下さい。）

抄録内に鍼の使用についての記載をする場合は、できるだけ使用鍼のメーカー、材質・太さ・長さの記載をするようにしてください。

また、学会誌の「投稿規定 III. 倫理規定など」に準拠するようにして下さい。

【演題採否】

演題の採否および発表形式は抄録審査を経た上で決定し、令和 7 年 8 月中旬までに通知いたします。

なお、抄録内容によっては、書き直しをお願いすることもあります。

また、内容の不備の場合には不採用になることもあります。

【著作権】

演題が採用された抄録の著作権は学会に移譲していただきます。

【演題登録に関する抄録・演題申込書送付先、演題問合せ先】

日本伝統鍼灸学会学術部 担当：光澤 弘・手塚 幸忠

電 話：03-3461-4787（日本鍼灸理療専門学校内 光澤）

E-mail：ippanenndai@gmail.com

※お問合せは基本的にメールでお願いいたします。ただし、メール送信後 3 日しても返信が無い場合は届いていない可能性がありますので、お電話頂ければ幸いです。

【演題申込書】

一般演題の抄録を登録される場合は下記の内容を送付メールに記載し、抄録ファイル（word ファイルと PDF ファイル）と一緒に送ってください。

発表演題名：

応募内容：（前述の【応募内容】からお選びください）

発表演者所属：

発表演者氏名：

発表演者ふりがな：

共同研究者氏名：

共同研究者ふりがな：

連絡先住所：

連絡先電話番号：

E-mail アドレス：

＜一般演題抄録記入例＞

腰痛に対する鍼灸の効果

伝統 太郎

鍼灸陰陽研究会

キーワード：腰痛、経絡、陰陽、脈診、数脈（※5つ以内）

【目的】

[illegible][illegible]

【考察】

【結語】

※文字数は 1400 字以内とすること